

# いざ!! eスポーツ全国大会

## 仁賀保高の生徒3人

にかほ市の仁賀保高校eスポーツ部の生徒3人が9日、高校生を対象としたeスポーツの全国大会に出場する。1、2日に行われた東北予選で優勝し切符をつかんだ。3人は「全国の舞台でも勝ち抜きたい」と意気込んでいる。

3人は齊藤<sup>（左）</sup>さん、熊谷<sup>（中）</sup>さん、鈴木<sup>（右）</sup>さんで、いずれも普通科の3年生。eスポーツ部（41人）に所属し、週4回ほど練習を重ねている。

大会は飲料メーカー日本コカ・コーラ（東京）などがスポンサーとなり、全国の高校生を対象に開催。スマートフォンやゲーム機のオンライン対戦ゲーム5種類をそれぞれ競技種目とし、各地で予選を行った。3人が出場する競技は、スマホの対戦型カードゲーム「クラッシュ・ロワイヤル」。手持ちのカード8枚を駆使して戦術を練り、相手のタワーを壊して勝敗を決める。

齊藤さんは中学時代から、他の2人は高校に入ってからこのゲームを始めた。インターネットを通じて世界中のプレイヤーと対戦でき、部活動の際は3人で帰宅後はそれぞれ腕を磨いてきた。

## あす試合「勝ち抜きたい」



eスポーツの全国大会に出場する（左から）熊谷さん、齊藤さん、鈴木さん

東北大会は5チームが参加し、仁賀保高はシード校として登場。3人1チームで1人ずつ対戦した。準決勝は東海大山形高（山形市）と、決勝は大間高（青森県大間町）と戦い、どちらもストレート勝ちした。

9日の全国大会はセミアイナルが行われ、9校が出場。仁賀保高はトナメント初戦で早稲田高（東京）と対戦する。2連勝すれば8月のクラッドファイナルに進む。

セミアイナルはオンライン開催で、仁賀保高は校舎で試合に臨む。早稲田高については、「世界レベルのプレイヤーが在籍するチーム。厳しい戦いになる」と気を引き締める。

齊藤さんは「勝つてチームに流れを引き寄せたい」、熊谷さんは「足手まといにならないよう頑張る」、鈴木さんは「格上相手だが勝利を自指す」とそれぞれ語った。

仁賀保高eスポーツ部は2021年に創部。ゲームのほか、災害避難を体験するVR（仮想現実）シミュレーションの制作などにも取り組んでいる。

（進藤麻斗）